



養老線地域公共交通再生協議会
一般社団法人 養老線管理機構
養老鉄道株式会社

養老線全線開通100周年記念出発式及び 養老線で新たに導入する車両「7700系」営業運行開始等について

1 趣 旨

養老線は、大正2年7月31日に養老～池野間を営業開始し、大正8年4月27日には桑名～養老間、池野～揖斐間を営業開始したことによる全線開通から、本年4月27日で記念すべき100周年を迎えることとなりました。

関係者の皆様をはじめ、日ごろからご利用いただいている利用者の皆様、地域住民の皆様のご支援に感謝し、記念出発式を行います。

このたびの100周年を契機として引き続き養老線の維持・活性化に関係者が連携して取り組んでまいります。

さらに、平成30年度から令和元年度の2か年事業で取り組んでいる養老線の車両更新事業にともない新たに導入する車両「7700系」の営業運行開始を記念出発式と同日に予定しており、記念出発式において、お披露目等を行います。

2 主 催

- (1) 養老線地域公共交通再生協議会 会長 大垣市長 小川 敏
- (2) (一社)養老線管理機構 代表理事 大垣市副市長 広瀬幹雄
- (3) 養老鉄道㈱ 代表取締役社長 原 恭

3 と き 平成31年4月27日（土） 11:15～11:50 ※雨天決行

4 と ころ 養老鉄道 大垣駅ホーム

5 養老鉄道全線開通100周年記念企画

養老線全線開通100周年記念企画第22弾、第23弾として、記念出発式に先立ち、平成31年4月26日（金）夕刻から令和元年10月下旬まで、従来から運行を続けている「600系」2編成に全線開通100周年を記念したボディステッカーおよび系統板を掲出します。

また、養老線全線開通100周年記念企画第24弾として、平成31年4月27日（土）から養老線で新たに導入する車両「7700系」の営業運行を開始します。

＜系統板のデザイン＞



掲出編成
D24（#524-564-624）



掲出編成
D21（#521-561-621）

6 新たに導入する車両「7700系」の運行スケジュール（平成31年4月27日（土）分）

(1) T Q 1 2 編成（#7712-7812-7912）

西大垣発 11:33大垣行 ※営業運行を開始。

大垣発 11:46桑名行 ※出発式の「(8) 出発合図」で出発。

桑名発 13:25大垣行

大垣発 15:06桑名行 桑名発 16:45大垣行

(2) T Q 0 3 編成（#7703-7803-7903）

西大垣発 12:59大垣行 大垣発 13:06桑名行 桑名発 14:45大垣行

大垣発 16:29桑名行 桑名発 18:07大垣行 大垣発 19:49桑名行

桑名発 21:27養老行

養老線全線開通100周年記念出発式 次第

と き 平成31年4月27日（土） 11:15～11:50

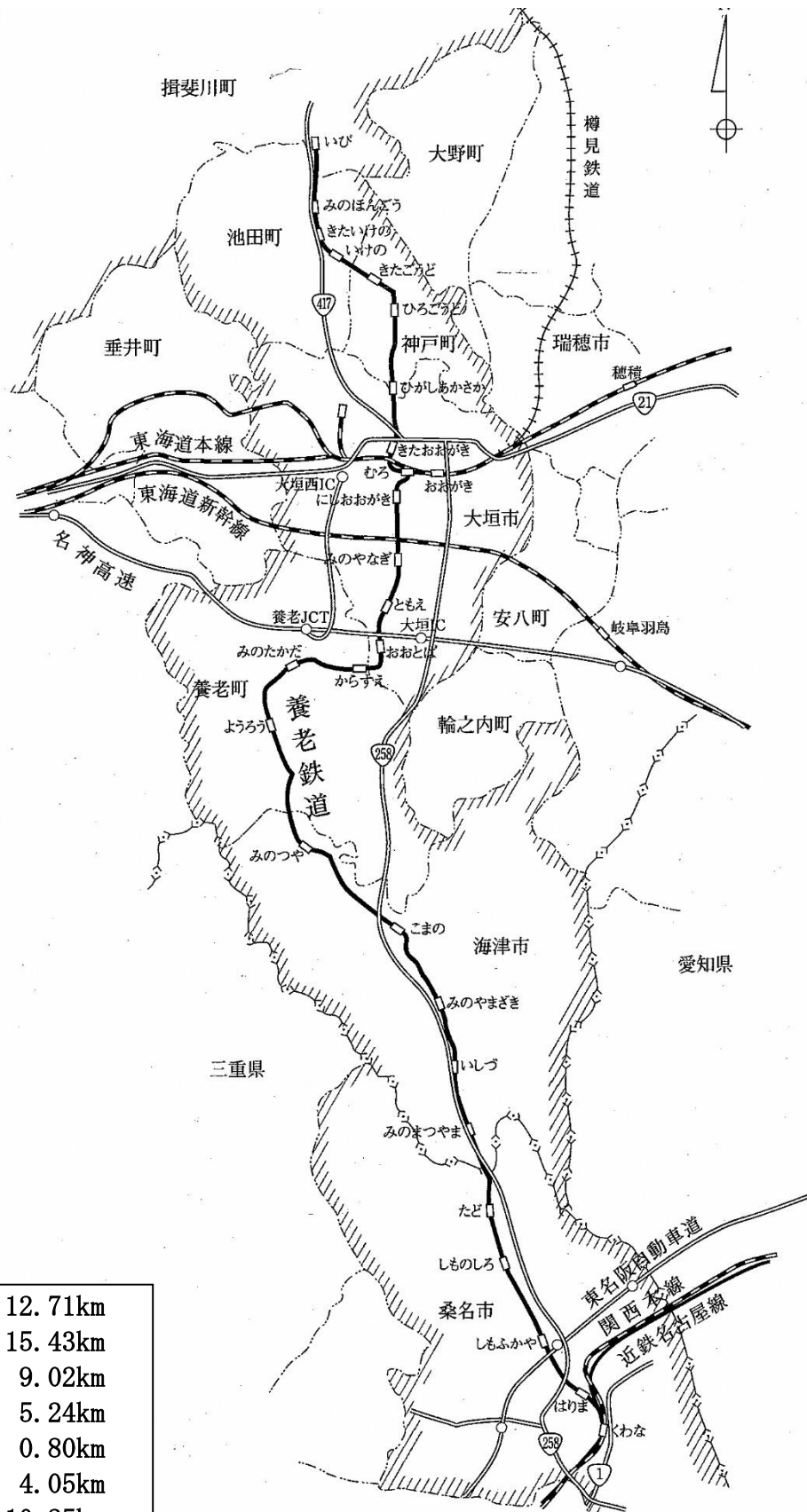
と ころ 養老鉄道 大垣駅ホーム

11:15～11:16	(1) 開 会		
11:16～11:26	(2) あいさつ		
	① 養老線地域公共交通再生協議会会長 大垣市長	おがわ いしざわ 小川 石澤	びん たつひこ 敏 龍彦 様
	② 中部運輸局長	はら 原	やすし 恭
	③ 養老鉄道㈱代表取締役社長		
11:26～11:31	(3) インタビュー		
	① 京浜急行電鉄㈱代表取締役社長	はらだ 原田	かずゆき 一之 様
	② いすみ鉄道㈱代表取締役社長	ふるたけ 古竹	こういち 孝一 様
	③ 立川勇次郎氏曾孫	たちかわ 立川	もとひこ 元彦 様
11:31～11:33	(4) 来賓紹介・祝電披露		
11:33～11:38	(5) テープカット		
	① 養老線地域公共交通再生協議会会長 大垣市長	おがわ いしざわ 小川 石澤	びん たつひこ 敏 龍彦 様
	② 中部運輸局長	おなみ 和波	きえこ 佐江子 様
	③ 衆議院議員 棚橋泰文様 秘書	ごうど 神門	じゅんいち 純一 様
	④ 岐阜県副知事	はら 原	やすし 恭
	⑤ 養老鉄道㈱代表取締役社長	ひろせ 広瀬	みきお 幹雄
	⑥ (一社)養老線管理機構代表理事 大垣市副市長		
11:38～11:43	(6) くす玉割り		
	① 京浜急行電鉄㈱代表取締役社長	はらだ 原田	かずゆき 一之 様
	② いすみ鉄道㈱代表取締役社長	ふるたけ 古竹	こういち 孝一 様
	③ 立川勇次郎氏曾孫	たちかわ 立川	もとひこ 元彦 様
	④ イビデン㈱人事・総務部総務グループグループマネージャー	おかだ 岡田	きよし 清司 様
	⑤ 大垣商工会議所専務理事	なるせ 成瀬	しげお 重雄 様
	⑥ 桑名商工会議所専務理事	もりした 森下	みつひで 充英 様
	⑦ 大垣市連合自治会連絡協議会会長	かみや 神谷	としゆき 利行 様
	⑧ 岐阜協立大学学長	たけうち 竹内	はるひこ 治彦 様
11:43～11:46	(7) 新たに導入する車両「7700系」の紹介		
11:46	(8) 出発合図 養老鉄道㈱運転士、水の都おおがき親善大使		
	1番ホーム 新たに導入する車両「7700系」(3両編成)		
	2番ホーム 「600系」マルーン(100周年ボディステッカー・系統板、3両編成)		
11:47	(9) 閉 会		

養老線の路線図

57.5km	
揖斐	2.3
美濃本郷	0.8
北池野	0.9
池野	1.6
北神戸	1.6
広神戸	2.8
東赤坂	2.1
北大垣	1.3
室	1.1
大垣	1.8
西大垣	1.8
美濃青柳	2.0
友江	1.4
大外羽	1.5
烏江	2.7
美濃高田	3.0
養老	4.3
美濃津屋	4.8
駒野	3.5
美濃山崎	2.1
石津	2.3
美濃松山	3.2
多度	2.0
下野代	2.6
下深谷	2.4
播磨	1.6
桑名	

有人駅
閉そく区間
業務委託駅
無人駅



大垣市	7駅、12.71km
海津市	5駅、15.43km
養老町	3駅、9.02km
神戸町	3駅、5.24km
揖斐川町	1駅、0.80km
池田町	3駅、4.05km
桑名市	5駅、10.25km

養老線の全線開通100周年のあゆみ

年月	内容
1911(明治44)年 7月	(初代)養老鉄道株式会社設立
1913(大正 2)年 7月	養老 - 大垣 - 池野間が開業
1919(大正 8)年 4月27日	桑名 - 養老間、池野 - 揖斐間が開業し全通
1922(大正11)年 6月	養老鉄道株式会社が揖斐川電気株式会社(後のイビデン)に合併
1928(昭和 3)年 2月	揖斐川電気株式会社の鉄道事業を養老電気鉄道株式会社へ分離譲渡
1929(昭和 4)年10月	伊勢電気鉄道株式会社が養老電気鉄道株式会社を合併
1936(昭和11)年 5月	養老電鉄株式会社設立 伊勢電気鉄道株式会社が養老線(桑名 - 揖斐間)を養老電鉄株式会社へ譲渡
1940(昭和15)年 8月	参宮急行電鉄株式会社が養老電気鉄道株式会社を合併
1941(昭和16)年 3月	大阪電気軌道株式会社が参宮急行電鉄株式会社を合併 関西急行鉄道株式会社に社名変更
1944(昭和19)年 6月	関西急行鉄道株式会社が南海鉄道株式会社と合併し、近畿日本鉄道株式会社に社名変更
2007(平成19)年 2月	養老鉄道株式会社設立
2007(平成19)年10月	上下分離方式による営業開始(1回目の事業形態の変更) 第二種鉄道事業者: 養老鉄道株式会社 第三種鉄道事業者: 近畿日本鉄道株式会社
2016(平成28)年 5月	沿線7市町(岐阜県大垣市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町、池田町及び三重県桑名市)、近畿日本鉄道株式会社、養老鉄道株式会社にて事業形態変更に関する確認書を交換
2017(平成29)年 2月	沿線7市町が一般社団法人養老線管理機構を設立
2017(平成29)年10月	いすみ鉄道株式会社と養老鉄道株式会社による姉妹鉄道協定締結
2018(平成30)年 1月	公有民営方式による営業開始(2回目の事業形態の変更) 第二種鉄道事業者: 養老鉄道株式会社(鉄道運行) 第三種鉄道事業者: 一般社団法人 養老線管理機構 (施設保有・維持管理、車両保有・維持管理)
2018(平成30)年 8月	立川勇次郎氏顕彰祭に京浜急行電鉄株式会社 原田社長が参加 ※立川勇次郎氏曾孫の立川元彦氏は毎年参加
2019(平成31)年 4月27日	養老線全線開通100周年

養老線の車両更新事業について（平成31年4月現在）

1 事業目的 現在、養老線の車両は昭和38年～45年製であり、老朽化が進んでいるため、車両更新により、塗装費や動力費等の削減、サービス向上を図ります。

2 事業主体 一般社団法人 養老線管理機構

3 事業期間 平成30年度～令和元年度

4 事業費 694,619千円（平成30年12月現在）

5 廃車車両

(1) 経過年数 導入から47年～51年経過（昭和41年～45年製）

(2) 編成・両数 15両（2両編成×3本、3両編成×3本）

6 導入車両（購入する東急の中古車両）

(1) 購入先 東急テクノシステム株式会社（東急グループ）

(2) 車種 東急7700系（昭和38年～41年製。ただし、昭和62年～平成3年に車体以外の台車、電機品、内装などを総取替済みである。）

(3) 車両数等

改造年度	車両数	編成	No.	営業運行開始予定	備考
平成30年度	6両	3両編成	7703-7803-7903	平成31年 4月27日	赤帯
		3両編成	7712-7812-7912	平成31年 4月27日	緑歌舞伎
令和元年度	9両	2両編成	7706-7906	令和元年 7月頃	緑帯
		2両編成	7705-7905	令和元年11月頃	緑帯
		3両編成	7714-7814-7914	令和 2年 1月頃	赤歌舞伎
		2両編成	7701-7901	令和 2年 2月頃	赤帯
合計	15両				

※既存車両の廃車のタイミング等により、一時的に31両から変動する時期はあるが、車両更新事業完了後は、現在と同じ31両体制（2両編成×5本、3両編成×7本）となる。

※営業運行開始予定は、現時点の予定であり、状況により変更となる場合がある。

7 導入予定図

※現状の赤いラインをそのまま生かす車両と養老鉄道㈱のシンボルカラーである緑を使用した車両を製作

＜緑 帯＞
2両編成×2本



＜赤歌舞伎＞
3両編成×1本



＜緑歌舞伎＞
3両編成×1本



＜赤 帯＞
3両編成×1本
2両編成×1本



一般社団法人 養老線管理機構